

「国民体育大会・全国障害者スポーツ大会 の概要、滋賀県における開催準備状況等」



1. 国民体育大会・全国障害者 スポーツ大会の概要



国民体育大会

(昭和21年～)

目的

- スポーツの普及
- 健康増進と体力向上
- 地方スポーツの振興と地方文化の発展
- 国民生活を明るく豊かに



会期

- 9月中旬～10月中旬のうち11日間以内
- 開催3年前に決定
- 水泳など会期前に実施する競技もある
- 秋に開催される本大会とは別に冬季大会もある



実施競技

- 実施競技は、4年ごとに見直し
- 滋賀県で開催する国体の実施競技は、日体協において平成27年度に決定される予定
- 都道府県対抗で実施
- 「正式競技」は、天皇杯(男女総合成績)、皇后杯(女子総合成績)の対象
- そのほか、「特別競技」「公開競技」「デモンストレーションスポーツ」がある



第74回（2019年）～第77回（2022年）の実施競技

<正式競技> 37競技

○毎年実施競技(36競技)

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

○隔年実施競技(1競技)

銃剣道またはクレ射撃

<特別競技> 1競技

高等学校野球(硬式・軟式)

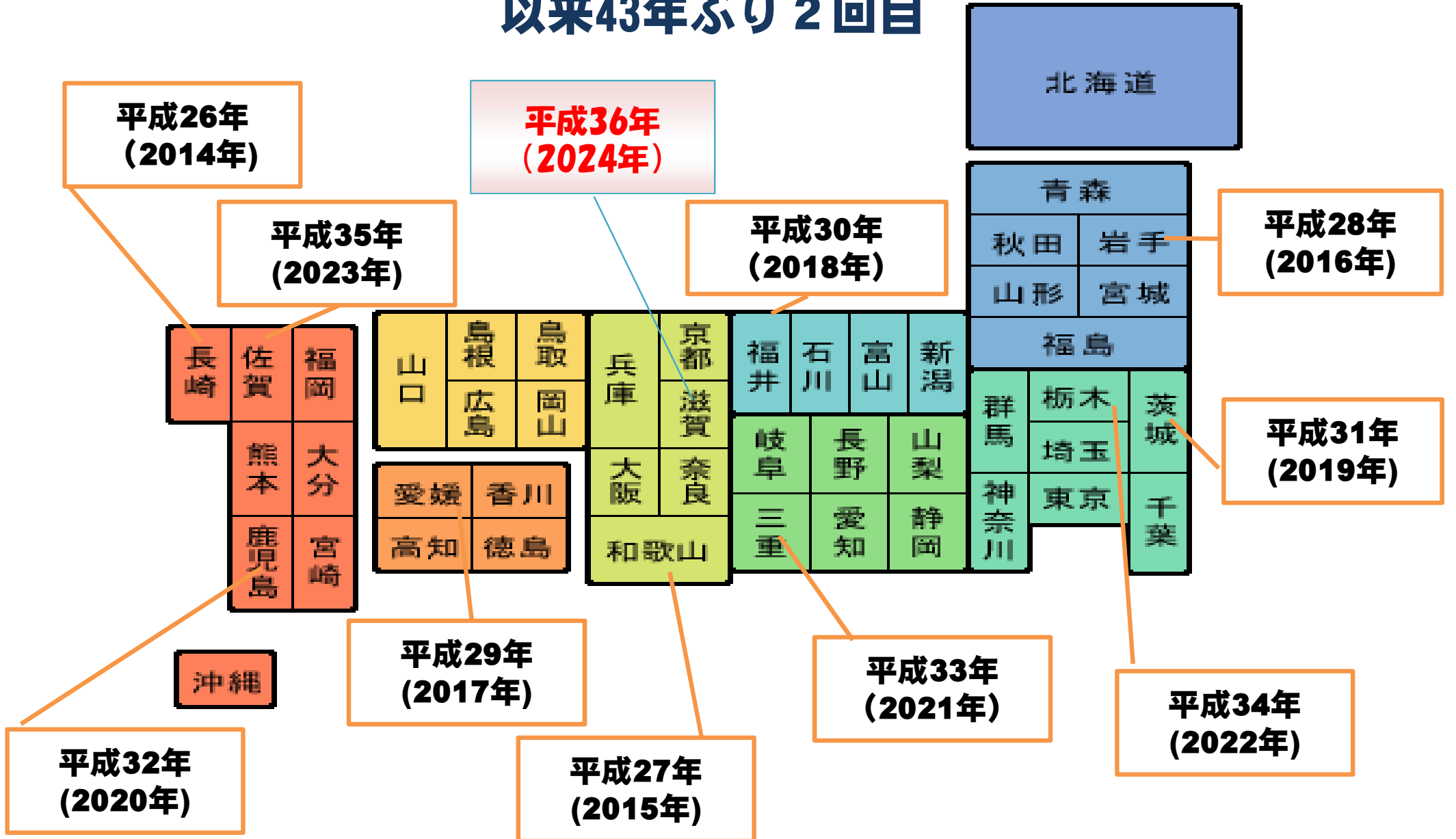
<公開競技> 5競技

綱引、武術太極拳、パワーリフティング、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ

<デモンストレーションスポーツ> 開催県の県民を対象

(例) バウンドテニス、少林寺拳法、オリエンテーリング、ダンススポーツ等

昭和56年（1981年）の「びわこ国体」 以来43年ぶり2回目





全国障害者スポーツ大会 (H13～)

経緯

- 平成13年に「全国身体障害者スポーツ大会」(昭和40年～)と、「全国知的障害者スポーツ大会」(平成4年～)が統合
- 平成20年には、精神障害者の競技も追加

目的

- 競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験
- 国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与

会期

- 国体の開催直後を原則として3日間

実施競技

- ・ 個人競技と団体競技。団体競技は、都道府県・指定都市対抗で実施

- ・ 「正式競技」のほか、広く障害者の間にスポーツを普及するための「オープン競技」がある

<正式競技>

陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリング、バスケットボール、車椅子バスケットボール、ソフトボール、グランドソフトボール、バレーボール、サッカー、フットベースボール

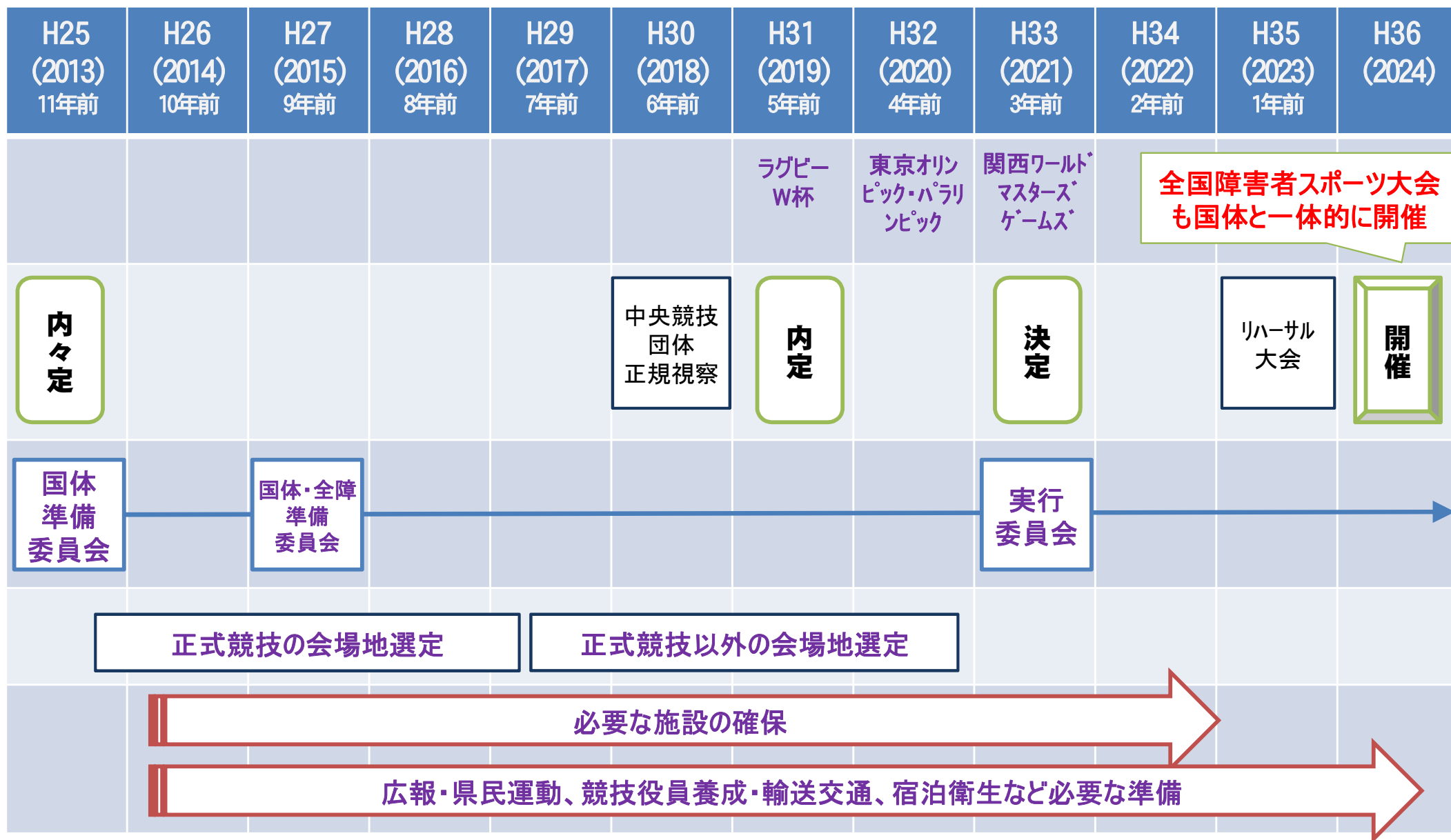
<オープン競技の例>

ふうせんバレーボール、視覚障害者ボウリング、車いすテニス、卓球バレー



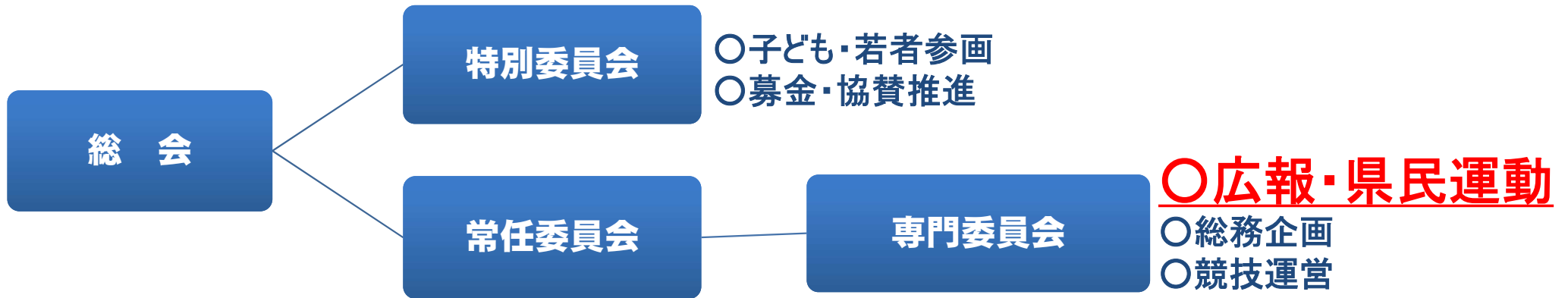
2. 滋賀県における開催準備 （全般）

開催までのスケジュール (案)



第79回国民体育大会滋賀県開催準備委員会

(H25.10 設立。H27から第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会準備委員会に変更予定)



※今後、準備の進捗に従い、順次、専門委員会を追加

総会メンバー 314名 (H26.5現在)

| | |
|-----|--|
| 会長 | 知事 |
| 副会長 | 県議会議長、副知事、県体協会長、県教育委員会委員長、市長会会長、町村会会長、県経済団体連合会会長 |
| 委員 | 市町長、県内の主要機関・団体の長 |
| 顧問 | 県選出国會議員 |
| 参与 | 県議會議員、県教育委員会委員、報道各社代表 |
| 監事 | 県会計管理者、市町会計管理者代表 |

第79回国民体育大会滋賀県開催準備委員会 構成図

平成26年5月26日現在

会長（1名） 知事

副会長（7名） 県議会議長、副知事、(公財)滋賀県体育協会会長、県教育委員会委員長、市長会会長、町村会会長、滋賀経済団体連合会会長

顧問（8名） 県選出国会議員

参与（59名） 県議会議員(副会長・委員以外)、県教育委員会委員(副会長・委員以外)、報道各社代表

委員（236名） ※○は常任委員(68名) ※委員総数としては、委員のうちから選任された副会長7名を含めた243名

県議会議関係（7名）

- 副議長
- 政策・土木交通常任委員会委員長
" 副委員長
- 体育振興・健康づくり対策特別委員会
委員長
" 副委員長
スポーツ振興議員連盟 代表
" 副代表

学校関係（20名）

- 滋賀県私立幼稚園協会会長
- 滋賀県国公立幼稚園長会会長
- 滋賀県小学校長会会長
- 滋賀県中学校長会会長
- 滋賀県高等学校長協会会長
- 滋賀県私立中学高等学校連合会会長
- 滋賀県特別支援学校長会会長
- 滋賀県専修学校各種学校連合会会長
- 県内各大学(12大学)学長

スポーツ関係（73名）

- (公財)滋賀県体育協会副会長(4名)・理事長
各都市体育協会(16協会)会長
- 滋賀県小学校体育連盟会長
- 滋賀県中学校体育連盟会長
- 滋賀県高等学校体育連盟会長
- 滋賀県スポーツ推進委員協議会会長
滋賀県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会会長
- 滋賀県障害者スポーツ協会会長
滋賀県スポーツ少年団本部長
- 滋賀県レクリエーション協会会長
滋賀県スポーツ指導者協議会会長
滋賀県企業スポーツ振興協議会会長
- 各競技団体(42団体)の長

医療・福祉関係（13名）

- (一社)滋賀県医師会会長
(一社)滋賀県歯科医師会会長
(一社)滋賀県薬剤師会会長
- (公社)滋賀県看護協会会長
- (一社)滋賀県病院協会会長
滋賀県スポーツ医会会長
日本赤十字社滋賀県支部長
- (社福)滋賀県社会福祉協議会会長
(公財)滋賀県身体障害者福祉協会会長
(特非)滋賀県精神障害者家族会連合会会長
(公社)滋賀県手をつなぐ育成会理事長
(一社)滋賀県保育協議会会長
滋賀県健康推進員団体連絡協議会会長

社会・文化・環境関係（21名）

- 滋賀県私立幼稚園PTA連合会会長
- 滋賀県PTA連絡協議会会長
- 滋賀県公立高等学校PTA連合会会長
- 滋賀県私立中学高等学校保護者会連合会会長
- 滋賀県特別支援学校PTA連絡協議会会長
- 滋賀県地域女性団体連合会会長
(公財)滋賀県文化振興事業団会長
(公財)滋賀県文化財保護協会理事長
(公財)淡海文化振興財団理事長
(一財)滋賀県老人クラブ連合会会長
- 滋賀県青年団体連合会会長
滋賀県青少年育成県民会議会長
滋賀県子ども会連合会会長
日本ボーイスカウト滋賀連盟長
(一社)ガールスカウト滋賀県連盟長
(公財)滋賀県緑化推進会理事長
(一社)滋賀グリーン購入ネットワーク会長
(公財)淡海環境保全財団理事長
滋賀県公民館連絡協議会会長
(公財)滋賀県国際協会会長
- (公社)日本青年会議所近畿地区滋賀ブロック協議会会長

県関係（17名）

- 各部長等
- 教育長
- 警察本部長
公営企業管理者等
- スポーツ推進審議会会長

産業・経済関係（19名）

- 滋賀県商工会議所連合会会長
- 滋賀県商工会連合会会長
- 滋賀県中小企業団体中央会会長
- 滋賀経済同友会代表幹事
- (一社)滋賀経済産業協会会長
- (公社)びわこビジターズビューロー会長
日本労働組合総連合会滋賀県連合会会長
滋賀県労働組合総連合議長
滋賀県農業協同組合中央会会長
滋賀県漁業協同組合連合会代表理事会長
滋賀県森林組合連合会代表理事会長
滋賀県生活協同組合連合会会長
(公社)滋賀県建設産業団体連合会会長
(一社)滋賀県銀行協会会長
滋賀県信用金庫協会会長
滋賀県信用組合協会会長
関西電力(株)執行役員滋賀支店長
大阪ガス(株)滋賀地区支配人
(一社)滋賀県LPガス協会会長

通信・運輸・交通関係（15名）

- 西日本電信電話(株)滋賀支店長
- (株)NTTドコモ関西支社滋賀支店長
- KDDI(株)理事 関西総支社長
- ソフトバンクモバイル(株)総務本部地域総務部長
- 西日本旅客鉄道(株)執行役員近畿統括本部京都支社長
- 近江鉄道(株)代表取締役社長
- 京阪電気鉄道(株)執行役員大津鉄道部長
- 信楽高原鉄道(株)代表取締役社長
- 西日本高速道路(株)執行役員関西支社長
- 中日本高速道路(株)執行役員名古屋支社長
- (一社)滋賀県バス協会会長
(一社)滋賀県タクシー協会会長
(一社)滋賀県トラック協会会長
滋賀県旅客船協会会長
(公財)滋賀県交通安全協会会長

宿泊・観光・衛生関係（5名）

- (一社)滋賀県旅行業協会会長
- 滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長
- (一社)滋賀県食品衛生協会会長
- (公社)滋賀県栄養士会会長
- (一社)滋賀県調理師会会長

警備・消防関係（2名）

- (公財)滋賀県消防協会会長
- (一社)滋賀県警備業協会会長

市町関係（21名）

- 各市町長(副会長以外)
- 都市教育委員会連絡協議会会長
- 町村教育委員会連絡協議会会長
- 都市教育長会会長
- 町村教育長会会長

市町議会議関係（19名）

- 市議会議長会会長
- 町村議会議長会会長
各市町議会議長(上記以外)

国関係（4名）

- 近畿運輸局滋賀運輸支局長
- 近畿地方整備局滋賀国道事務所長
- 近畿地方整備局琵琶湖河川事務所長
- 自衛隊滋賀地方協力本部長

監事（3名）

- 県会計管理者
- 市会計管理者代表
- 町会計管理者代表

計 314名

第79回国民体育大会開催基本方針（H25.10 第1回総会決定）

基本方針

滋賀県は、我が国最大の湖である琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や、古くから交通の要衝として栄えてきた歴史を有するとともに、先人が人と人、人と自然のつながりの中で育んできた文化が今も脈々と息づいています。

この地で平成36年(2024年)に開催する第79回国民体育大会は、次代を担う人育てや、活力に満ちた真心通い合う郷土づくり、全国から滋賀を訪れる多くの人との交流の絶好の機会として、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、県民の皆さんの総参加により、夢や感動、連帯感を共有できる大会とすることを目指します。

この大会の開催を契機として、県民の皆さんがより一層身近にスポーツを楽しむことのできる環境をつくり、健康・体力の保持増進と競技力の向上を図ります。

併せて、福祉、教育、観光および経済への総合的かつ複合的な効果を通して、ふるさと滋賀の活力をさらに高め、将来にわたり持続可能な共生社会の実現につなげてまいります。

実施目標

① 滋賀をスポーツで元気にする国体

県民の皆さんが日常的にスポーツを「する」「みる」「支える」ことのできる環境づくりに取り組むとともに、生涯にわたり心身ともに健康で活力ある生活を送ることができるよう、健康づくりへの関心を高め、行動につなげるきっかけとします。

② 滋賀の若者や女性が主体的に関わる国体

若者や女性の、大会に向けた準備や大会運営への主体的な参画を図るとともに、心身ともにたくましく思いやりの心を持った子どもの育ちや、女性がより一層スポーツに親しむことのできる環境づくりにつなげます。

③ 県民総参加でつくり、「滋賀の力」を伸ばす国体

県、市町をはじめ、関係機関・団体、大学や企業との緊密な連携のもと、多様な人、多様な主体との協働を通じた創意工夫による大会準備・運営を行うとともに、滋賀の持つ「人の力」「地と知の力」を伸ばします。

実施目標（続き）

④ 滋賀の魅力を再発見し、地域の活性化やビジネスにつなげる国体

環境へのこだわりや歴史・文化・自然など多様な滋賀の魅力を県民自らがみつめなおし、全国に発信するとともに、大会準備や運営、「おもてなし」の経験をもとに、将来につながるビジネスへの展開など、地域経済の活性化を図ります。

⑤ 滋賀の子が、滋賀で育ち、滋賀で活躍する国体

この大会を契機として、滋賀の地で選手が育ち、その選手が指導者となって次の世代を育てるなど、滋賀のスポーツの発展を支える好循環の形成に努めるとともに、次代を担う子どもが夢を育み、実現することのできる環境づくりを目指します。

⑥ 滋賀の未来に負担を残さない国体

既存施設の有効活用や、大会運営の簡素化・効率化を徹底するとともに、施設整備が必要な場合は、環境に最大限配慮し、大会終了後の持続的な活用が可能で、かつ防災等多目的に使用できる施設としての整備を目指します。

主会場の決定

(H26.5 第2回常任委員会決定)

開・閉会式と陸上競技の会場が彦根総合運動場に決定

- ※ 今後、県営都市公園として、新しい第1種・第3種の2つの陸上競技場などを整備
- ※ 他の競技の会場は、平成27年度以降、順次決定する予定



子ども・若者参画特別委員会 (ジュニアユース・チーム)

他県にはない、滋賀ならではの取組！

- ・ 子どもや若者ならではの視点や思い → 開催準備や滋賀のスポーツ振興に反映
- ・ 第1期生は、小学5年生から大学生までの23名
- ・ 今年度のテーマは、「湖上スポーツ」。振興方策などについて、実際に体験活動もして検討
- ・ 7月から3月まで計8回の活動を行い、最終回(3/7)の活動報告会で振興方策等を提案
- ・ テーマとメンバーを替え、今後も継続して実施



募金・協賛推進特別委員会

平成36年（2024年）の大会に向けた募金の実施

- 県民総参加でつくる大会に向けて、開催に向けた機運醸成や大会の周知等のために募金（寄附金の募集）を実施する予定。
- 「募金・協賛推進特別委員会」において、昨年の11月から『どのような募金にするか』や『募金の推進計画』などを審議いただいているところ。
- 今年6月頃の開催準備委員会の総会における決議を経て、広く県内外の個人、企業・団体の皆さんに対して寄附を呼びかける予定。

これまでの特別委員会における主な意見

- 平成27年度からは、「スポーツ施設の整備」や「アスリートの育成等」のための募金を開始し、大会の詳細が固まる開催3年前頃から「大会運営経費」のための募金も企業協賛と併せて始めてはどうか。
- 選手だけでなく県民も一緒につくる大会に向けて、県民が自主的に応援したいという気持ちを醸成することが重要ではないか。
- 寄附をしたいと思った時に、手軽に、また気軽に寄附できる環境の整備が必要ではないか。
- 平成36年までの長期にわたる募金のため、メリハリをつけるなど持続させる取組が必要ではないか。

3. 滋賀県における開催準備 (広報・県民運動)

広報・県民運動専門委員会における審議事項

常任委員会から付託または委任を受けて審議

付託事項・・・専門委員会で案を決定。その案を常任委員会で審議して決定
 委任事項・・・専門委員会で審議して決定

| 区分 | 専門委員会設置規程（別表） | 主な項目 |
|------|--|---|
| 付託事項 | 1 広報の基本的事項に関すること。 2 県民運動の基本的事項に関すること。 3 その他広報および県民運動に係る重要な事項に関すること。 | ○広報基本方針 ○広報基本計画 ○県民運動基本方針 ○県民運動基本計画 |
| 委任事項 | 1 広報の実施に関すること。 2 県民運動の推進に関すること。 3 大会愛称・スローガン、マスコット等に関すること。 4 その他広報および県民運動に係る事項に関すること。 | ○広報活動の取組（実施計画等） ○花いっぱい運動、おもてなし運動、大会ボランティア、健康づくり等の県民運動の取組（実施計画等） ○大会愛称・スローガンの選定（公募） ○マスコットの選定（公募または既存キャラクター） ○ダンス・体操、イメージソング等の決定 |


平成26～27年度の審議スケジュール（案）

| 年度 | 会議 | 委員会における審議 | <参考> 当該年度の具体的な取組内容 |
|--------|----------------|--|---|
| 平成26年度 | 第1回 (H27.3) | <説明事項> ■大会の概要 ■本県の開催準備の状況 ■先催県の状況等 <審議事項> ■広報基本方針(案) ※H27.6の常任委員会で議決 | ○広報誌の活用（県プラスワン、県体協ビスポ） ○広報チラシの作成 |
| 平成27年度 | 第2回 (H27.7) | ■広報基本計画(案) ※引き続き次回会議で議論 | ○のぼり旗・卓上のぼりの作成（県・市町、イベント等） ○横断幕の作成（陸橋、イベント等） ○広告掲載（スポーツ情報誌「レイクスマガジン」） ○広報誌の活用（県プラスワン、県体協ビスポ等） ※上記は、現時点の取組予定 <u>※上記のほか、来年度、県内大学の学生に授業で広報チラシを作成してもらうことについて大学側と協議中。</u> <u>作成したチラシについては、デザインコンテストを実施し、当専門委員会において最終審査をしていただき、実際の広報チラシとして採用する予定。</u> |
| | 第3回 (H27.9) | ■広報基本計画(案) ※H28.6の常任委員会で議決 ■広報実施計画(案) ■マスコットキャラクターの検討 ※引き続き、次年度以降も検討 | |

4. 先催県の状況等 (広報関係)

大会愛称・スローガン

※日本体育協会の承認が必要

| 開催県 | 東京都 (平成25年) | 長崎県 (平成26年) | 和歌山県 (平成27年) |
|----------|---|--|--|
| 方 法 | 公 募 | 公 募 | 関係者からの 提案募集 |
| 募 集 期 間 | H21.11.16～H22.1.15 (4年前) | H21.4.1～5.31 (5年前) | H21.11.19～12.25 (6年前) |
| 愛 称 |  <small>第65回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会</small> | 長崎 がんばらんぼ 国体 2014 長崎 がんばらんぼ 大会 2014 |  <small>2015 紀の国</small> |
| スロ ー ガ ン | 東京に 多摩に 島々に 羽ばたけアスリート | 君の夢 はばたけ今 ながさきから | 躍動と歓喜、そして絆 |

大会愛称・スローガン

※日本体育協会の承認が必要




| 開催県 | 岩手県 (平成28年) | 愛媛県 (平成29年) | 福井県 (平成30年) |
|----------|--|--|---|
| 方 法 | 公 募 | 公 募 | 公 募 |
| 募 集 期 間 | H24.4.16～5.31 (4年前) | H24.5.1～6.15 (5年前) | H24.4.27～6.29 (6年前) |
| 愛 称 |  |  |  |
| スロ ー ガ ン | 広げよう 感動。伝えよう 感謝。 | 君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え | 織りなそう 力と技と美しさ |

※1 茨城県(平成31年)は、公募(H25.9～10)で、「いきいき茨城ゆめ国体2019」「翔べ 羽ばたけ そして未来へ」を選定

※2 鹿児島県(平成32年)は、公募(H26.12～H27.2)を実施したところで、現在選定中

マスコットキャラクター

※日本体育協会への報告が必要

| 開催県 | | 東京都 (平成25年) | 長崎県 (平成26年) | 和歌山県 (平成27年) |
|-------|------|---|--|--|
| マスコット | | <p>ゆりーと</p>  | <p>がんばくん</p>  <p>らんばちゃん</p> | <p>きいちゃん</p>  |
| デザイン | 方法 | 公募 | 公募 | デザイン業者によるコンペ |
| | 募集期間 | H21.11.16～H22.1.15 (4年前) | H21.9.1～10.31 (5年前) | H23.1.17～3.11 (4年前) |
| 呼称 | 方法 | 公募 | 公募 | 公募 |
| | 募集期間 | H22.7.31～9.30 (3年前) | H21.12.22～H22.1.21 (5年前) | H23.6.8～8.19 (4年前) |

マスコットキャラクター

※日本体育協会への報告が必要

| 開催県 | | 岩手県 (平成28年) | 愛媛県 (平成29年) | 福井県 (平成30年) |
|-------|------|---|---|---|
| マスコット | | <p>わんこきょうだい</p>  <p>こくっち とふっち そばっち おもっち うにっち</p> | <p>みきゃん</p>  | <p>はぴりゅう</p>  <p>さとりゅう すぼりゅう たべりゅう はなりゅう</p> |
| デザイン | 方法 | H21.21(7年前)に「いわて・平泉観光キャンペーン」で誕生 | 公募 (県のイメージキャラクターとして) | 公募 |
| | 募集期間 | | H23.4.20～6.8 (6年前) | H25.1.25～3.22 (5年前) |
| 呼称 | 方法 | H24.12(4年前)に大会マスコットキャラクターを務めることが発表 | 公募 | 公募 |
| | 募集期間 | | H23.8.11～9.8 (6年前) | H25.8.1～9.27 (5年前) |

※茨城県(平成31年)は、公募(デザインはH26.2～4、呼称はH26.7～9)で、「いばラッキー」を選定

広報に係る先催県の主な取組

- チラシ、のぼり、パンフレット、マスコットグッズなどの広報物の作成
- 大会専用ホームページの作成、SNS（Facebook、twitter、LINE等）の活用
- テレビ、ラジオ、広報誌等の媒体を通じた情報発信
- 大会にちなんだ各種イベントの開催
- 学生などの広報ボランティアによる広報・啓発活動
- 県ゆかりのアスリートや著名人の協力による広報活動

大学生広報ボランティア
「がんばらんば隊」（長崎県）



「きいちゃん」LINEスタンプ
（和歌山県）



大会広報誌「えがお通信」
（愛媛県）

